

Fukushima Hope Tourism

ホープツーリズム



2011.3.11  
東日本大震災  
津波被害者のために

# ホープツーリズムとは



## ふくしまオンリーワンの 新しいスタディツアー

世界で唯一「複合災害(地震・津波・原子力災害)」を経験した場所、福島県。ホープツーリズムは、複合災害の事実、教訓、復興への挑戦から得た学びから、これからの持続可能な社会・地域づくりを創造するプログラム。

見る



施設見学やフィールドワークから、ありのままの姿を体感する

聞く



様々な立場や分野で復興に挑戦する人々との対話

考える



震災・原子力災害の教訓を、未来にどう活かすか



# ホープツーリズム「フィールドパートナー(FP)」

## ▶ フィールドパートナー (FP)

ツアー中のアテンド、ファシリテートを担当。  
リフレクションや、ワークショップなどを通し、  
**中立・客観的な立場** から、参加者とともに、  
学びの成果へと導く **総合案内人**。



## ■ フィールドパートナーの役割

導く



インプット 中立・客観的立場

- 震災・原子力災害、復興に関する情報の伝達
- 施設等の見学後、現地の方々との対話後の情報整理、補足説明

→ 論点の明確化、多様な視点への展開

■ 随所の問い立て・介入

→ 参加者の探究心や志向性を引き出すサポート

アウトプット 振り返り・ワークショップの企画・運営

# ホープツーリズムで得られるもの

## ▼PR動画

現地の人々やツアー参加者のコメントを交えたPR動画です。  
実際のツアーシーンもございますので、ぜひご覧ください。



## ▶中間貯蔵施設 入構見学



## 企業研修ツアー参加者の声

様々な取組を見て、技術的に理論的に現実的な解を見出していると感じた。そこまで見出せれば企業は強い。**現実を直視して、それに向き合い、真剣に解を見出す。**そのプロセスや重要性を、このツアーで体感することができた。

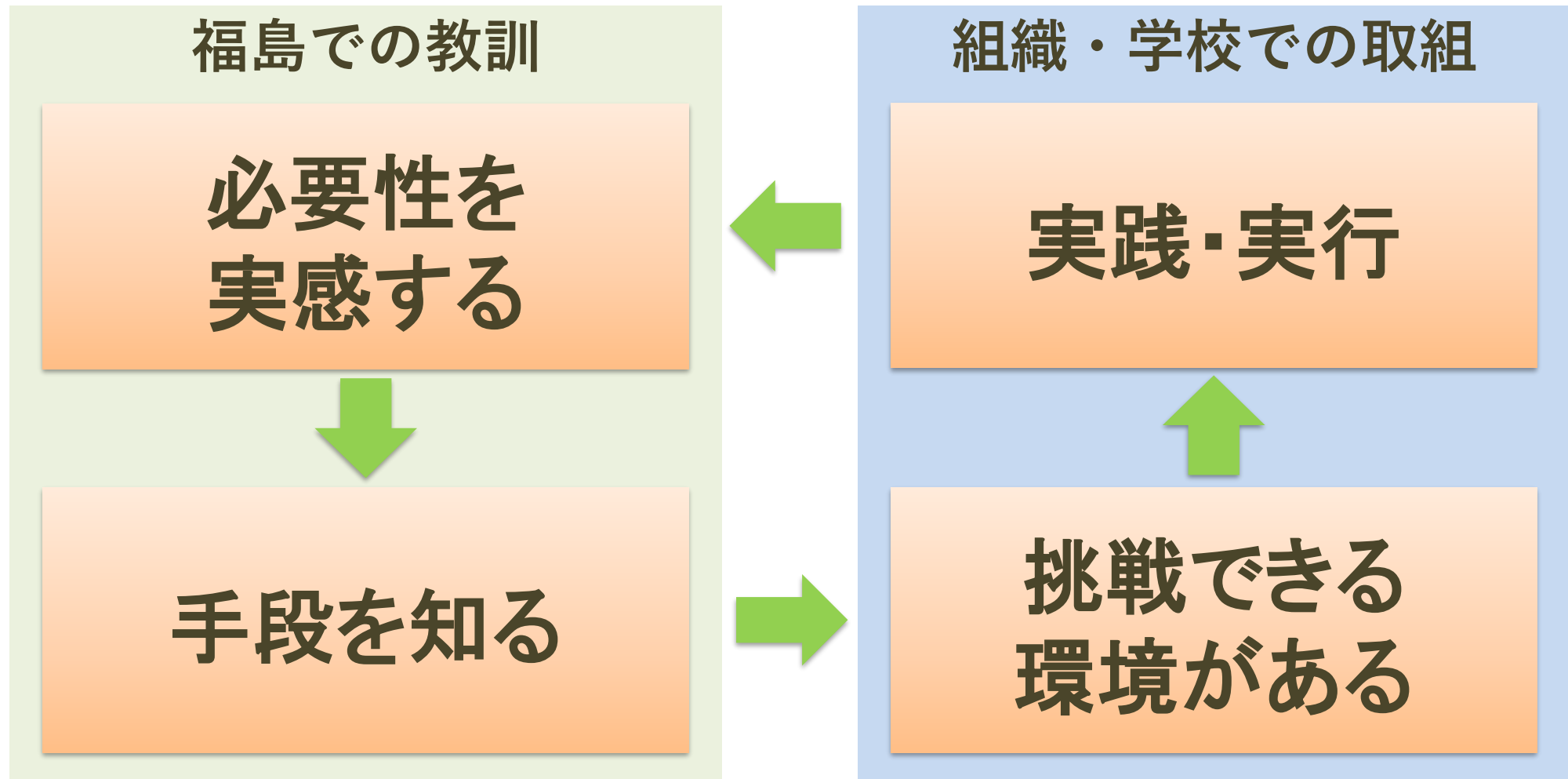
コロナ禍、省力化で研修のオンライン化が進行・・・

ふくしまだけの  
コンテンツ

ふくしまオンリーワンの学び・経験・出会い

(1F・中間貯蔵がフックとなる)

# なぜ、「ふくしま」での研修が必要なのか



# なぜ、「ふくしま」での研修が必要なのか

地震

津波

原発事故

長期の避難指示

地域再生の取組み

リスクマネジメント  
危機管理  
BCP

## ▼大震災の発生

- ・地震による倒壊
- ・津波による壊滅的被害
- ・原子力災害
- ・地域機能の停止
- ・事業活動の停止
- ・住民の避難

環境マネジメント  
事業開発

## ▼環境汚染

- 放射線物質の拡散による
- ・生活圏の汚染
- ・海洋汚染、森林汚染
- ・除染土壌等
- ・中間貯蔵、最終処分
- ・風評被害

事業開発  
省人化・省力化  
地域貢献

## ▼人口の大幅な減少

- ・住民帰還率が低い
- ・帰町者は高齢者層が多い
- ・子どもの帰町が少ない
- ・労働力の低下
- ・崩壊したコミュニティ

事業開発  
地域連携  
地域貢献

## ▼産業衰退

- ・主要産業の喪失
- ・周辺産業の衰退
- ・消費財等の減少
- ・農林水産業の衰退
- ・商工業の衰退
- ・伝統産業の衰退

環境マネジメント  
サプライチェーン  
事業開発  
地域貢献

## ▼地域インフラ再整備

- ・交通機関の減少
- ・公共施設の減少
- ・商業施設の減少
- ・医療施設の減少
- ・観光施設の減少

## ▼エネルギー問題

- ・原発に依存からの脱却
- ・再生可能エネルギー
- ・代替エネルギーの課題

事業開発  
地域貢献

## ▼福祉・教育の課題

- ・学校の統廃合
- ・少人数による学校教育
- ・福祉施設の減少
- ・教員・スタッフ減少

## ▼コミュニティ・歴史や伝統

- ・文化交流
- ・多様性の認識
- ・伝統産業の再生
- ・祭り・伝統芸能の継続

地域貢献  
企業風土醸成

ふくしまのフィールドは**社会づくり**や**企業活動**との関連性が高い

## 観光業のミッション=交流人口の拡大

その先  
には…?

### ゲストへ(ツアー参加者)

- ・ 震災の事実の伝達と伝承
- ・ 効果の高い学びの提供・共有
- ・ 意欲や関心への満足度向上
- ・ 自分事化による、意識変革を促す
- ・ 未来志向な視点を醸成

### ホストへ(受入側)

- ・ 直接的な経済効果
- ・ 移住定住促進の導入＝まちづくり
- ・ 来県組織と受入組織の連携のきっかけづくり  
＝学習・産業の充実
- ・ フィールドパートナーの育成による、  
地域人材の育成＝福島の実力

## 適切なバランスが地域創生の一助

福島になにができるか→福島“から”なにができるか

被災地観光や震災創生における協働産業モデル